



2025年11月12日

各 位

会 社 名 株式会社イーディーピー
代 表 者 名 代表取締役社長 藤森 直治
(コード番号：7794、東証グロース市場)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 兼 総務部長 高岸 秀滋
(TEL 06-6170-3871)

2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025年11月12日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月27日付で開示した2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)通期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(1) 連結業績予想 2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日) (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,861	△77	△89	△128	△8円90銭
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 2025年3月期	902	△976	△989	△2,306	△171円38銭

(2) 個別業績予想 2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日) (単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	1,609	67	43	3円01銭
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 2025年3月期	989	△873	△2,189	△162円72銭

2. 修正の理由

当社グループは宝石の販売と大型ウエハの実用化に向け、様々な準備を進めております。宝石の販売は、米国の宝石ネット通販への出品が開始され、世界的な大手宝飾企業との商談も進んでおります。また、各国のダイヤモンドデバイス開発プロジェクトは一層拡大しており、特定のデバイス製品の実用化を目指すベンチャー企業の活動も活発であります。受注状況は前年同期より遅れております。

一方で、SFD Indiaの輸入業務の許可取得が完了せず、事業の開始が遅れております。それによって計画していたインド国内での種結晶の販売が出来ず、原石の加工依頼も行えない状況です。また、輸出貿易管理令が2025年5月に改正された後の運用について当局等との交渉を行っており、輸出許可申請先についても未確定の状況です。このため、輸出許可の取得にどの程度の期間が必要なのか分かっておらず、当社製品、とりわけ種結晶の輸出に対してどのような影響となるかを見極める必要があります。宝石の販売は開始した直後であり、本年度通期の予想は、現時点では難しい状況にあります。

デバイス関連製品の本年度の売上は、昨年度を上回ると予想しておりますが、2025年6月30日に公表した「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載の予想と比べますと、売上は大幅に低下する見込みです。これは、米国及び欧州の関連製品の売上未達によるものです。また、「その他」の製品では、光学部品大手ユーザーの在庫が増加し、当該製品の本年度の購入が停止されたなどの影響を勘案し、予想売上高を引き下げました。

上記状況から、2025年5月27日に公表しました2026年3月期の通期連結業績予想及び個別業績予想を一旦取り下げ、未定といたします。なお、上記の課題などの帰趨が明確となり、合理的な算定が可能となりましたら、速やかに開示いたします。

<ご参考>

製品の分野別の売上予想の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	種結晶	宝石	デバイス関連	その他	合計
6月30日予想（注）	585	578	610	88	1,861
11月12日予想	未定	未定	450	30	未定

（注）6月30日に公表した「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載した予想売上

以 上